

日産車体株式会社 個人投資家向け会社説明資料

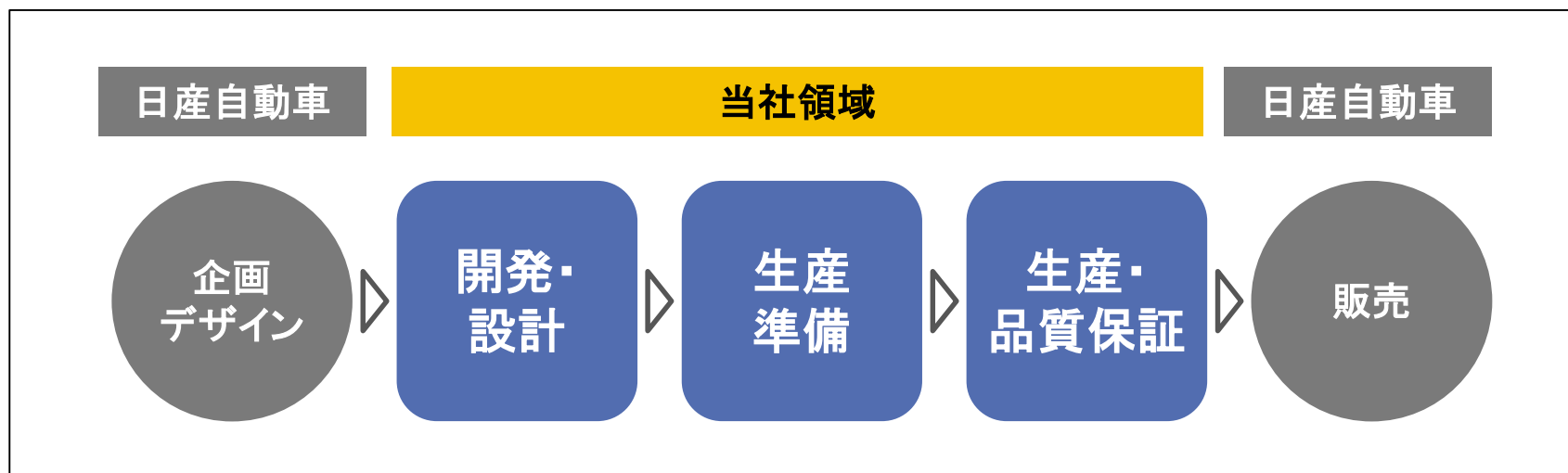
日本のモノづくりを世界へ



2020年11月

Outline

日産車体は、
開発から生産までを担う完成車メーカーです



日産グループの中で「LCV・フレーム車」の分野を中心に、
グローバルに活躍する完成車メーカーとして事業を展開しています

LCV: Light Commercial Vehicleの略。小型商用車

フレーム車: トラックやバスに採用される頑丈な梯子フレームにパワートレーンなど走行機能搭載し、その上にキャビンを搭載する構造の車。当社製品: 大型SUVのパトロール、インフィニティQX80、小型トラックのパトロールピックアップ、アトラスF24、マイクロバスのシベリアン

日産車体グループ

湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点が主軸です

日産車体(株)

日産車体九州(株)

設立	1949年	2007年
事業内容	各種自動車の開発から 品質保証まで	自動車および その部分品の製造・販売
従業員数	1,811名	1,071名
生産拠点	神奈川県平塚市	福岡県苅田町

(2020年3月31日現在)

湘南工場



日産車体九州工場



グループ会社

日産車体マニファクチャリング株式会社

- ▶ 日産車体のプレス部品の製造

日産車体エンジニアリング株式会社

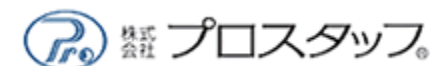
- ▶ 日産車体および日産車体九州の設備保全と物流



- ▶ マイクロバスとトラックの製造と特装車の架装

日産車体コンピュータサービス株式会社

- ▶ 情報システム構築、ネットワーク構築などのIT関連サービス



- ▶ 人材派遣から職業・人材紹介および各種アウトソーシング

沿革

2010年に日産車体九州の新工場が稼働開始。
2014年には湘南地区の再編を完了。

年 月	社 歴
2018年	パラメディック(E26)発表
2016年	6月、日産車体九州で北米向け大型SUVの「新型アルマーダ」生産開始
2014年	3月、新本社を第2地区に竣工・湘南再編完了
2012年	湘南工場第1地区での車両生産を終了、湘南工場第4地区での車両生産を第2地区へ集約、湘南工場の車両生産体制の再編を完了
2010年	日産車体九州稼働開始
2007年	子会社「日産車体九州株式会社」設立／生産累計1,500万台達成
1992年	生産累計1,000万台達成
1951年	日産自動車(株)と提携
1949年	当社前身 新日国工業(株)設立

▶ 高級ブランド「インフィニティ」を生産
(日産車体九州)



インフィニティ QX80

▶ LCVでグローバル展開をリード



NV200 NY市 タクシー提案モデル

▶ ミニバンで現在の基礎を構築



▶ 日産車体のルーツを作ったフェアレディZ



グループのご紹介

主な生産車

湘南工場



NV200
VANETTE
NV200 バネット



NV150
AD



NV200
NV200 タクシー



PATROL
パトロール:Y61



PATROL PICKUP
パトロール ピックアップ

日産車体九州



Infiniti QX80
インフィニティ QX80



PATROL
パトロール:Y62



ARMADA
アルマーダ



ELGRAND
エルグランド



NV350
CARAVAN
NV350 キャラバン

オートワークス京都



CIVILIAN
シビリアン



ATLAS
アトラスF24

特長

完成車メーカーとしてのDNAを活かした、 多くの特長を持っています

湘南工場

LCVを中心とした多車種少量生産の
一大拠点



▶ モノコック車



▶ フレーム車

日産車体九州

2010年に稼動開始した日産グループの
国内“最新鋭工場”



▶ ローラーヘミングによるエンジンフードの生産



▶ 新塗装技術

特装車

グループ内での一貫生産により、高品質な特別仕様車をスピーディに提供



2020年度第2四半期 連結決算概況

<累計>

決算サマリー

北米向けの「アルマーダ」や中近東向け「パトロールY62」の大幅な減産等により、売上台数が前年同期を大きく下回り、減収・減益となった

売上台数

乗用車・商用車・小型バスで、売上台数が減少し、前年同期比3.6万台減の5.0万台

売上高

台数減に伴い、前年同期比46.7%減の1,224億円

営業利益 (損失)

売上高の減少及びモデルミックスの悪化により、前年同期比86億円減少し、66億円の損失計上

親会社株主に帰属 する四半期純利益 (損失)

売上高、営業利益等の減少及び特別損益の影響により、前年同期比52億円減少し、36億円の損失計上

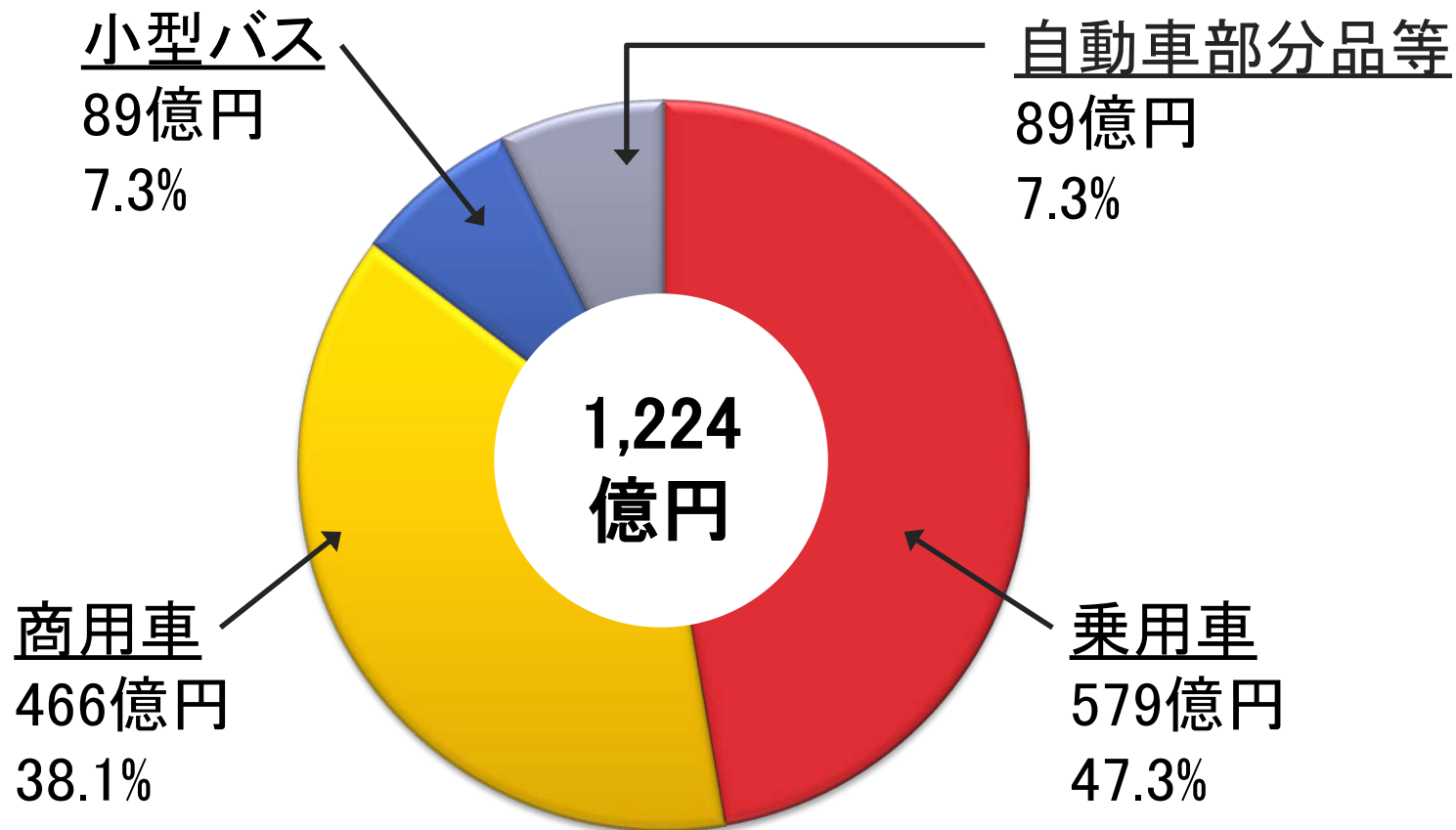
2020年度 第2四半期 決算 <累計>

業績ハイライト

	2019年度 第2四半期 (2019/4～9)	2020年度 第2四半期 (2020/4～9)	増減額(率)		通期計画
売上高	2,296	1,224	▲ 1,072	▲ 46.7%	3,616
営業利益	19	▲ 66	▲ 86	—	▲ 20
経常利益	22	▲ 60	▲ 82	—	▲ 4
親会社株主に帰属 する四半期純利益	15	▲ 36	▲ 52	—	0

単位: 億円

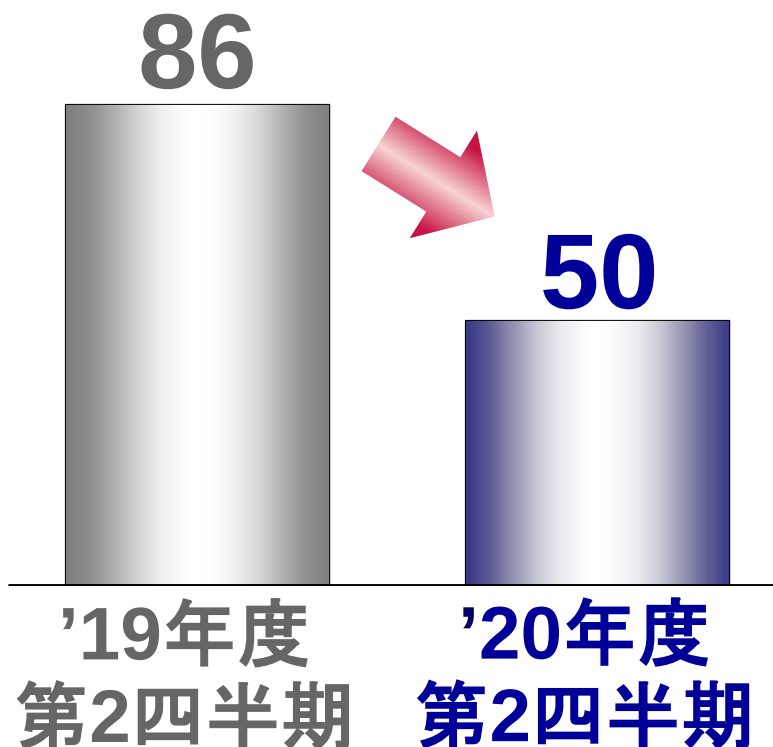
品目別売上高構成比



売上台数

売上台数は前年同期比41.5%減の50千台

(千台)



(千台)

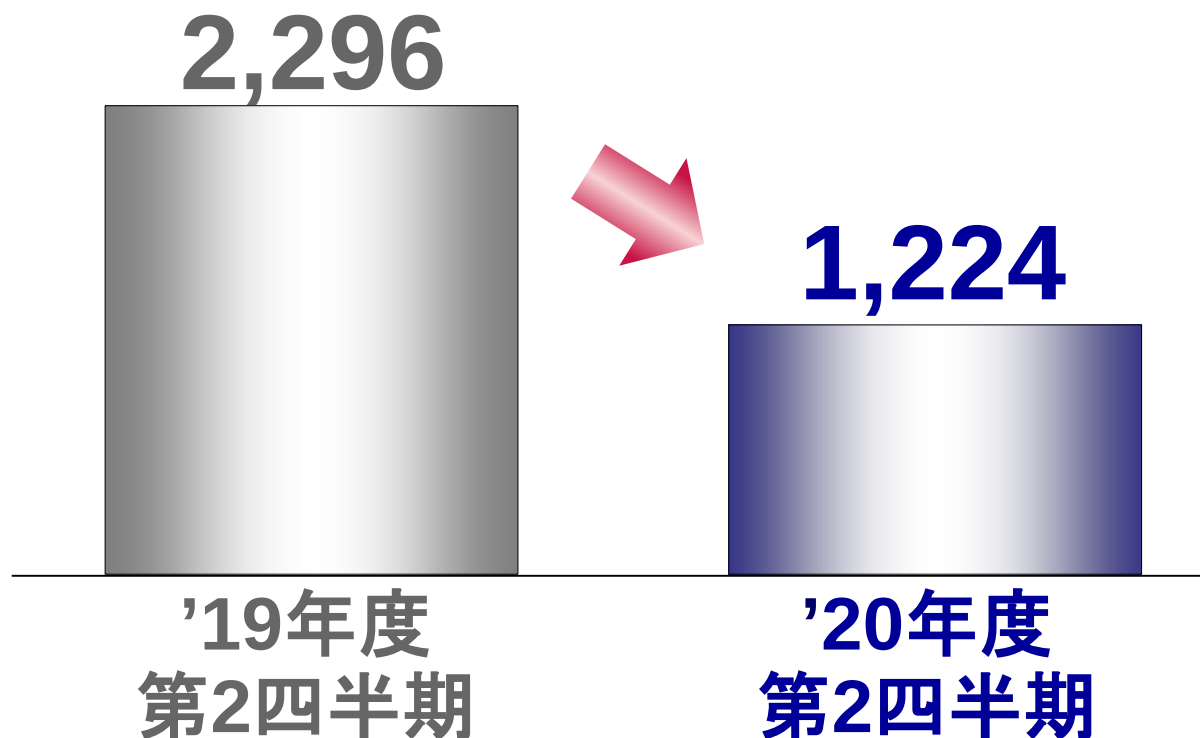
	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	43	16	▲62.0%
商用車	33	30	▲9.0%
小型バス	10	4	▲58.6%
合計	86	50	▲41.5%

2020年度 第2四半期 決算 <累計>

売上高

売上高は前年同期比46.7%減の1,224億円

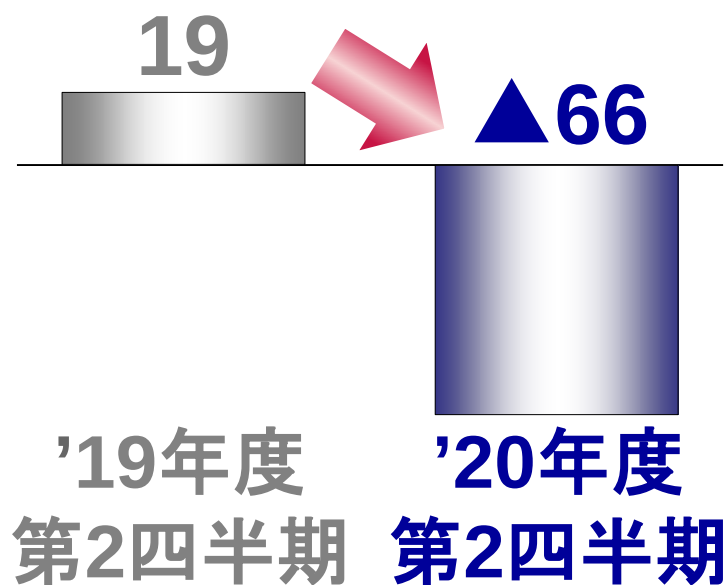
(億円)



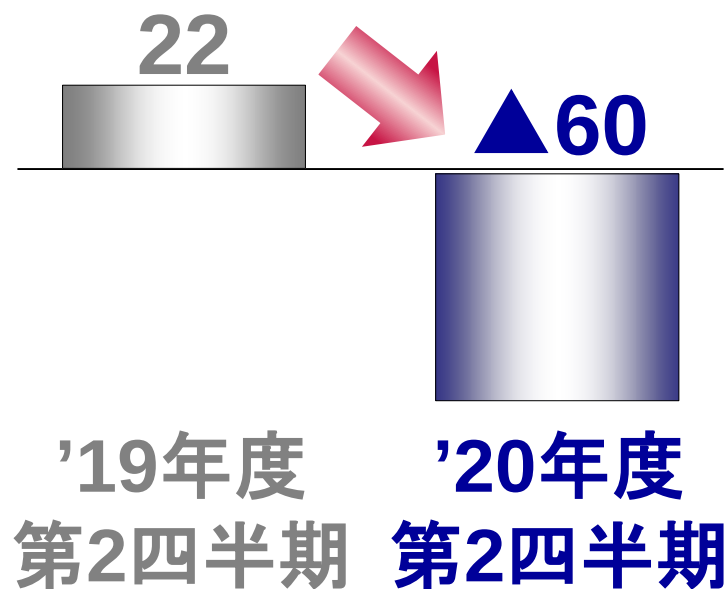
営業利益(損失)／経常利益(損失)

営業利益/経常利益とも前年同期を大きく下回り、損失計上となる

営業利益(損失) (億円)



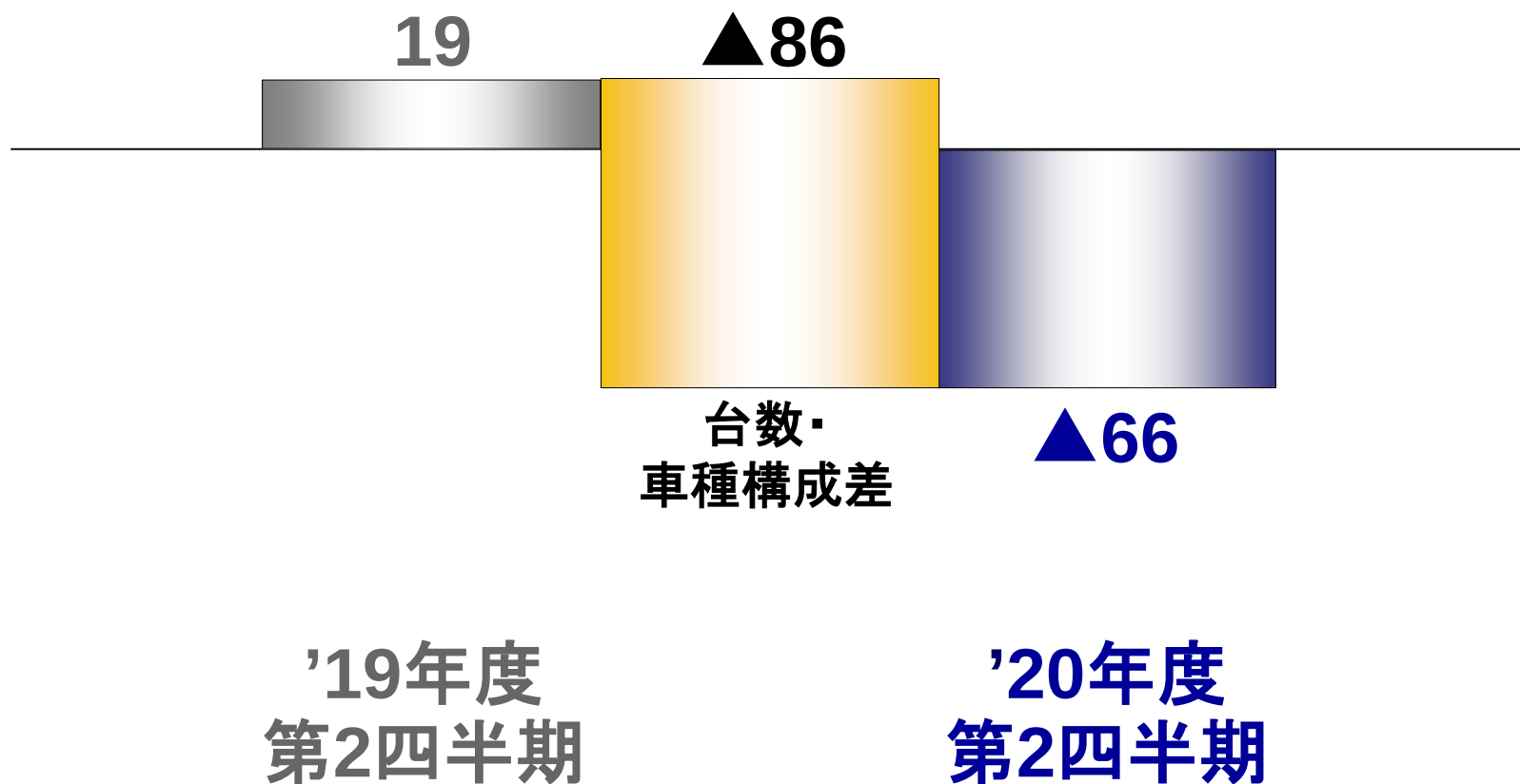
経常利益(損失) (億円)



2020年度 第2四半期 決算 <累計>

営業利益(損失)の増減要因

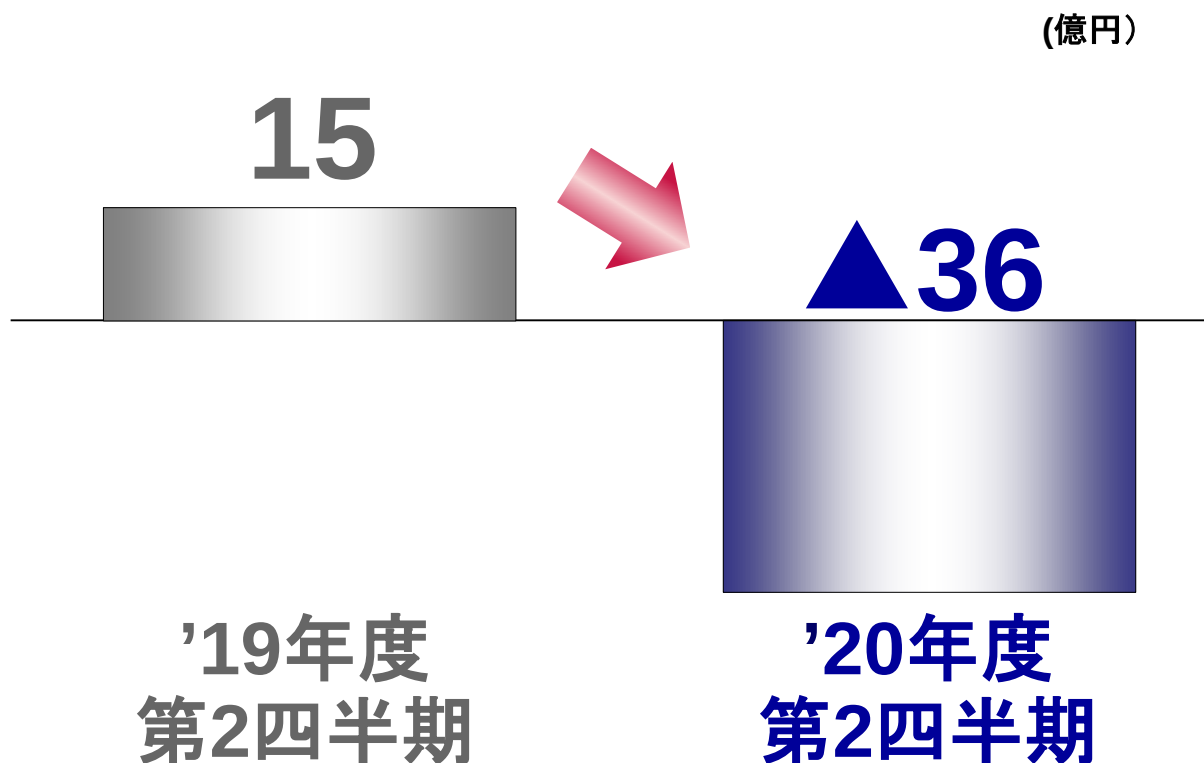
(億円)



2020年度 第2四半期 決算 <累計>

親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)は、前年同期比52億円減の36億円の損失計上となる。



2020年度 1株当たり配当金

株主還元

継続的な安定配当を基本に、年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

